

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 Wi-Fi環境の整備により、行政側の情報発信力の向上や施設利用者の利便性向上が期待される。

指標	指標名	防災等に資するWi-Fi環境整備を行う施設数							指標の種類
	指標式	国へ報告している「防災等に資するWi-Fi環境の整備計画」に基づく							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a			8	45				
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	「防災等に資するWi-Fi環境の整備計画」への報告数値							

把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a								
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 災害時にもインターネット接続を提供できるWi-Fi環境整備済み県有施設が2か所しかないことから、ICTを活用した安全・安心まちづくりを図るため、防災拠点等に対してWi-Fi環境整備を進める必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 発災時の避難者や帰宅困難者の情報不足による不安を解消するため、利用者を制限しない通信インフラ整備が求められる。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
 県有施設を対象とした整備事業であるため。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定